

## (5)新左翼一フツの歴史年表…………… 1969

## ● 1969年

- 1月10日「戦旗」第159号「過渡期世界危機の深化と階級形成・党形成の現在の任務」(さらぎ徳二)
- 1月15日東大闘争・全国学園闘争勝利労学総決起集会(日共・民青派と激突)
- 1月17日全国労働運動左翼活動者会議(主催—電通労研・長崎社研・大阪)
  - 松本礼二・榎原 均(共産同)、陶山健一(革共同中核派)、
  - 今野 求(第四インター)。樋口篤三・いいだもも(共労党)、
  - 荒川 亘(社労同)、高田 麦(統社同)、菊水 望(阪神共産主義者協議会)
- 1月18・19日東大安田講堂攻防戦・神田カルチェラタン闘争。  
全国学園闘争激化(東京工大無期限スト、横国大無期限スト、京大教養部スト、大教大養部無期限スト)
- 1月24日「戦旗」第161号「東大の死闘に控え、全国の職場学園で占拠を拡大し、  
安保中央権力闘争 マッセンストへ邁進せよ」
- 1月24～26日日本社会党第32回臨時大会—安保闘争方針決定
- 1月26日全兵庫地区反戦連絡会議—結成(神戸地区反戦、尼崎反戦、西宮反戦、伊丹地区反戦他)
- 1月26日青高反戦会議—結成(東京都立青山高校)
- 1月×日『国際階級闘争資料集』NO1(共産主義者同盟国際部)
- 2月4日2・4ゼネスト中止(社大・人民、社会3党と復帰協・労協・沖労連・職員会「生命を守る県民共闘会議」)
- 2月7日「戦旗」163号「本土・沖縄の安保・沖縄闘争を更なるソビエト運動で…」
- 2月10日京大全共闘機関紙「STRUGGLE」創刊
- 2月11日紀元節復活反対高校生統一集会
- 2月11日『東大闘争—その意味するもの—』(共産主義者同盟千葉県委員会)
- 2月13日総評大阪地評常任幹事会(反日共系全学連との共同行動を破棄)
- 2月×日東大・日大全共闘報告集会の開催(京都、大阪、神戸)
  - 関西地区反戦の挨拶「今度は学生諸君を工場のバリケードの中に案内するであらう」「いくつかの官公労拠点で労働者の安田講堂攻防の実現を」
- 2月22日『労働運動の現段階とわれわれの任務』(共産主義者同盟・榎原 均)—発行
- 2月25日大阪府立茨木高校/卒業式粉碎体育館封鎖—茨木高校反戦会議・全大阪高校生反戦委員会
- 2月25日大阪府立阪南高校卒業式/校舎封鎖—阪南高校反戦会議
- 2月25日大阪府立東淀川高校卒業式—抗議(反戦会議)
- 2月28日「戦旗」第166号「全学連のコンミュン型組織への改編を獲得せよ」(共産同中央学生組織委員会)
- 2月28日新宿西口地下広場フォークゲリラ開始
- 3月1日広島県立広島皆美高校卒業式/学業証書受け取り拒否
- 3月2日活動家集団思想運動—結成総会(武井昭夫・機関誌紙「社会評論」「思想運動」)
- 3月6日(西大阪)総評化学同盟塩水港精糖労組事務所に機動隊の導入。  
森安弘之ほか労働者二十七名逮捕。
- 3月8日沖縄・安保・春闘勝利労働者決起集会(東京・勤労福祉会館—共産同中央労対部)
- 3月13日東京都立武蔵丘高校卒業式/反戦高協30名突入
- 3月25日「四・二八を突破口として、七〇年へ戦列を強化せよ！」(五派共同宣言)
  - 革命的共産主義者同盟・共産主義者同盟・社会主義労働者同盟・
  - 日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)・日本マルクス・レーニン主義者同盟
- 3月25・26日社会主義学生同盟全国大会(同志社大学)
- 3月25日『理論戦線』第8号(社学同全国委員会全国大会報告集)
- 3月27・28日全学連臨時第二十回臨時大会開催(社学同系・同志社大)
  - 〈委員長—藤本敏夫(同志社大)・委員長代行—久保井拓三(中大)・書記長—石橋興一(早大)
  - ・書記次長—米田隆介(明治大)講演・藤本進治、廣松 渉)
- 3月27・28日民学同第11回大会(桃山学院大学)/28日プロレタリア学生同盟第1回全国大会
- 3月27～29日全学連第二回臨時全国大会(革マル派系・委員長—成岡庸治)
- 3月28～29日全学連臨時全国大会(中核派系・委員長—金山克巳)
- 3月×日共産主義青年同盟(キム)—結成大会(常任委員長—佐藤秋雄→田宮高麿、機関誌「キム」)
- 3月×日全国労働運動左翼活動者会議(東京)—全国各県反戦代表者会議—結成
  - 〈世話人—今野 求(宮城反戦)、鈴木達夫(長崎反戦)〉

- 3月29日国際主義共産学生同盟(学生インター)—結成(機関誌『永統革命』・旧社青同国際主義派)
- 3月29日救援連絡センター(東京・事務局長—水戸 巖・機関紙「救援」)—発足
- 3月30日三里塚軍事空港粉砕集会
- 4月12日日本共産党(革命左派)神奈川県常任委員会—結成(常任委員長—石井 勝)  
(旧日本共産党左派神奈川県委員会・川島 豪、河北三男・機関紙「解放の旗」)
- 4月14日「統一」320号「プロレタリア学生同盟結成宣言」(共労党系—民学同左派の改組)
- 4月15日共産主義者同盟政治集会(東京・九段会館)
  - ・司会 (一向 健、日向 翔)
  - ・基調・共産同議長 さらぎ徳二
  - ・三多摩地区反戦 三上 治
  - ・共産主義青年同盟 田宮高麿
  - ・国際部長 松本礼二
- 4月17日京都市立日吉ヶ丘高校/バリ封鎖—反戦高協(4.28 沖縄奪還闘争への決起)
- 4月18日「戦旗」第173号「4・28 政府中枢—霞ヶ関占拠へ」
- 4月19日大阪府学連大会(社会学系)
- 4月20日京浜安保共闘—結成(婦人解放同盟、労働者反戦団、学生戦闘団、東京共産青年同盟)
- 4月21日「共同声明」—革命的共産主義者同盟・共産主義者同盟・日本マルクス・レーニン主義者同盟  
日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)・社会主義労働者同盟  
・共産主義労働者党・統一社会主義同盟・全学連・反戦青年委員会・沖縄闘争学生委員会  
・三里塚反対同盟・砂川基地反対同盟・マルクス主義学生同盟中核派・社会主義学生同盟  
・全国学生解放戦線・全国反帝学生評議会・国際主義共産学生同盟・共産主義学生同盟・  
プロレタリア学生同盟・社会主義学生戦線フロント・東京大学全学共闘会議・  
教育大学全学闘争委員会・中央大学中央闘争委員会・日本大学全学共闘会議・他27団体。
- 4月27日破壊活動防止法(破防法)—発動決定  
(革共同—本多延嘉・藤原慶久・青木忠・共産同—仏徳二・久保井拓三)
- 4月26日七〇年安保粉砕・沖縄闘争勝利全関西労学争決起集会  
(円山公園・関西地区反戦、京都反戦、京都府学連)
- 4月28日沖縄デー(新橋、銀座、世田谷)—共産同、革共同に破防法適用。
- 4月28日『キム』第1号(共産主義青年同盟中央常任委員会)—刊行
- 4月×日主体と変革全国委員会—結成(機関誌紙『主体と変革』『プロレタリア』)
- 4月×日『大学—叛逆への招待』創刊(京都大学出版会)
- 5月2日「戦旗」第175号「戒厳令を突破、巨万の中央権力闘争」
- 5月3日『共産主義者同盟の総括と綱領問題』(共産同綱領委員会・田原 芳)
- 5月9日「戦旗」第176号「70年安保闘争に占める4・28 中央権力闘争の革命意義」
- 5月12日4・28 闘争報告、愛知訪米—ASPAC東京会議阻止！全関西労学政治集会  
(中之島公会堂、基調—永井武夫)
- 5月×日『4・28 沖縄安保粉砕・中央権力闘争』(共産主義青年同盟)—発行
- 5月19日安保破棄・平和と民主主義を守る大阪府民共闘会議(反安保府民共闘)結成  
(大阪総評・部落解放同盟・全大阪反戦・社青同・統社同・日本のこえ・共労党・共産同)
- 5月20日『世界暴力革命論』(さらぎ徳二・リベラシオン社)
- 5月21日全大阪青年反戦集会(大阪府職会館・全大阪反戦青年委員会)
- 5月22日『4・28 安保・沖縄闘争』(共産主義者同盟)—発行
- 5月×日第11期・関西労働者学園(大阪)～8月
- 5月×日共産同第八回大会第三回中央委員会(権力の介入のため中断)
- 5月×日『現代革命Ⅰ』(「革命的高揚から革命情勢の幾つかの問題」)—発行
- 5月×日共労党第三回大会・議長—いいだもも～「構造改革路線」転換・春日庄次郎等離党
- 5月×日機関紙「解放の旗」創刊号(日共革命左派神奈川県常任委員会)
- 5月29日六月全京都ストライキ闘争委員会(京大、同大、立命館大他)—結成
- 5月31日 愛知外相訪米阻止(羽田デモ)
- 5月31日沖縄奪還大教祖全員集会(扇町プール)—「五・三一事件」・反戦派高校生壇上占拠
- 6月4日同志社大学全学闘争委員会(全学闘)—「闘争宣言」
- 6月8・9日ASPAC粉砕(アジア太平洋閣僚会議・伊豆伊東)現地闘争
- 6月12日「赤軍派通達 最近の我々の政治組織総括」—発行

- 6月13日「火花」5号(共産同関西地方委員会内部通達—「軍団建設」提起)
- 6月13日安保粉碎！日帝打倒＝プロレタリア独裁樹立共産同大政治集会(杉並公会堂・基調—佐伯 武)
- 6月13日日本共産党革命的左派—結成(大隈鉄二)
- 6月14日全関東高校生政治集会(明大・社会主義学生同盟高校生委員会—委員長・大谷行雄)
- 6月15日反戦・反安保・沖縄闘争勝利関西総決起集会(大手前公園)  
(全大阪反戦青年委、京都反戦青年委、関西ベ平連、京大、同志社大・8千名)
- 6月19日総評「反戦青年委員会に関する質問とわれわれの態度」
- 6月20日関西大学全共闘—結成(議長—深海信治・書記長—榎谷 聡)～学生会館封鎖
- 6月21日明治大学全共闘—結成
- 6月22日「火花」6号—「軍事を組織しうる党への同盟の变革」提起
- 6月24日「プロレタリア通信」(共産同政治局—「わが同盟の火急の任務」)
- 6月26日大学立法粉碎全国連絡協議会(全協)結成一創価学会系
- 6月×日佐々木和雄(第8回大会書記長)—出獄
- 6月×日共産同—「ボルシェビキ・レーニン主義派(BL派)」フラクション形成  
(書記局・機関紙編集局・佐々木和雄)
- 6月×日統社同第七回大会(流会)—全国委員会(安東書記長)辞任・都道府県代表者会議設置
- 6月28日新宿西口地下広場—フォークゲリラ(7000人)への機動隊の弾圧(64名逮捕)
- 7月2日「プロレタリア通信」(7月6日全都合同会議、反同盟解体分子「赤軍派」批判)
- 7月4日共産同関西政治集会(中之島公会堂大講堂、基調—永井武夫)  
「火花」7号—「世界プロ独・世界党—世界赤軍—綱領問題」提起
- 7月6日共産同全都合同会議(明治大和泉学舎)
- 7月9日「7・6事件」赤軍派、仏議長をリンチ・後逮捕—9月29日望月上史(同志社大)死亡(享年22歳)
- 7月11日「戦旗」第185号「解党主義、無政府主義と闘い、安保闘争を日帝打倒・世界革命戦争へ」(共産同政治局)
- 7月12日「火花」8号—「わが同盟が直面している問題は何か—過渡期世界論の把握のために—」
- 7月13～16日全学連第二七回全国大会(革マル派系・委員長—大貫健夫)
- 7月15～16日全学連第二十回大会(反帝学評系・委員長—石橋興一)
- 7月15～18日全学連全国大会(中核派系・委員長—金山克巳)
- 7月20～×日総評第三八回定期大会(反戦青年委員会の凍結決定)
- 7月23日社会主義学生同盟全国大会(明大・350名—同盟内の意見の相違を公開討論に入り克服決定)
- 7月26日「火花」9号—「わが同盟が直面している問題は何か(続)」
- 8月4日大学治安立法強行採決粉碎闘争
- 8月8日「戦旗」第189号「10月中央権力闘争へ、全戦線を打ち固めよ！」
- 8月7～11日「ハンパク(反戦のための万博)」—開催(大阪城公園・延六万人)
- 8月17日(「大学の運営に関する臨時措置法」発効)
- 8月17日広島大学バリケード死守戦
- 8月22日「戦旗」第190号「安保決戦・日帝打倒・世界革命戦争へ、9月4—9日総結集」(共青同政治局)
- 8月×日「火花」10号—分派闘争への態度提起
- 8月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第三回大会～極東解放革命論
- 8月×日共産同関西地方委員会総会
- 8月22日**共産主義者同盟第九回大会(明大生田学舎—赤軍派13名除名)**  
議長—さらぎ徳二、副議長—松本礼二、  
書記局＝書記長—佐々木和雄、松村三郎(浦野正彦)、野田 晋(岡野英夫)、  
榎原 均(竹内 毅)、垂水俊介(中井正美)、羽山太郎(佐藤秋雄)、(高幣真公)、  
鈴木路彦(山下浩志)、〇〇〇〇(前田〇〇)、斯波寛志(高橋茂夫)  
永井武夫(清田裕一郎)、一条信治(池亀 信)・・十二名  
日向 翔(荒 岱介)、三谷 進(浅田隆治)、野崎 進(柳田 健)、  
高見沢洋一(坂井與直)、竹野 巖(田中正治)、稲沢 徹(茂田一義)、  
杉田正夫(斎藤芳雄)、(久保井拓三)、高寺良一(伊藤文昭)、  
(岩崎司郎)、三上 治、神津 陽(薬師寺忠昭)、中島二郎(米山〇〇)  
・・他三四名(中央委員会)  
「大会報告」執筆Ⅰ・松村三郎、Ⅱ・佐々木和雄、Ⅲ・榎原 均、Ⅳ(一)野田 晋、  
Ⅳ(二)高見沢洋一、Ⅴ(一)鈴木路彦、Ⅴ(二)高幣真公、Ⅵ・佐々木和雄  
「共産主義者同盟第九回大会への意見書」(杉田正夫・垂水俊介・羽山太郎)

- 「同盟九回大会「議案」に対する付帯決議提案について」(「火花」第12号関西地方委員会8・27)  
「共産同の革命的再編に向けて」(三多摩地区委員会)  
「共産主義者同盟第九回大会に向けて 意見書」(中央委員・三上 治)
- 8月22～24日全国反帝学評第三回全国大会(東大駒場)
  - 8月28日共産同赤軍派一結成総会(議長一塩見孝也、  
政治局一八木健彦、田宮高鷹、堂山道生、高原浩之、上野勝輝、花園紀男)
  - 9月1日「解放」40号～(機関紙「革命」改題・革命的労働者協会)
  - 9月3日共産主義者同盟赤軍派「戦争宣言」
  - 9月3日第二回国際反帝集会(明大記念館講堂)
  - 9月3日全学闘争委員会一結成(青高反戦会議)
  - 9月×日『赤軍』NO1(共産主義者同盟赤軍派機関誌「我々の立脚すべき地点」)
  - 9月×日『先行性ファシズム論』(さらぎ徳二・リベラシオン社)
  - 9月×日統社同第八回大会(議長一小寺山康雄・書記長一高田 麦)一「構造改革路線」転換・安東仁兵衛等離党
  - 9月4日「赤軍」発刊準備号(共産主義者同盟赤軍派・機関紙「前段階蜂起＝世界革命戦争に向け、  
共産同赤軍派に結集せよ！共産同の現在と我々」)
  - 9月4日全国学生解放戦線(SFL)結成大会(明大和泉学舎・議長一城戸浩正)
  - 9月4日愛知外相訪米訪ソ阻止闘争(羽田空港・京浜安保共闘)
  - 9月5日全国全共闘結成大会(日比谷野外音楽堂、議長一山本義隆、副議長一秋田明大)
  - 9月5日大阪中電ストライキ実行委員会一結成(電信反戦総会少数派)
  - 9月5日『反戦派労働運動』(陶山健一・亜紀書房)一発刊
  - 9月7日第二回国際反帝集会(大阪市立労働会館)
  - 9月7日「全共闘の組織的課題は何か」滝田 修(京大全共闘機関紙「STRUGGLE」NO9)
  - 9月12日「戦旗」第193号「9・15全関東反戦武装行動隊創出せよ！10月安保決戦への飛躍台」
  - 9月14日東京都立青山高校/全学闘争委員会、校長室バリケード占拠(警官隊導入、解除)
  - 9月15日大阪電通労研総会(中電マッセスト方針決定 中電労研反対、脱退・16日前田裕昭、共産同離党)
  - 9月18日大阪府教委通達粉碎・十一月佐藤訪米阻止大阪反戦総決起集会(扇町公園)
  - 9月19日・11月14日・12月6日大阪教育大学附属池田校舎/封鎖(5・30大阪府教育委員会通達粉碎)
  - 9月19日「戦旗」第194号「10・21を基軸に安保決戦・中央権力闘争・佐藤帝国主義政府打倒」
  - 9月19日全国県反戦青年委員会代表者会議(世話人一今野 求・村上明夫～北海道、宮城、  
埼玉、石川、大阪、岡山、徳島、長崎、東京地区、三重地区)
  - 9月19日青山高校全学共闘会議(全共闘)一結成(全闘委の改称)
  - 9月19日大阪府立東淀川高校/封鎖一(能力別クラス編成撤廃)
  - 9月20～22日京大時計台死守、百万遍街頭バリケード戦(10月1日津本忠雄・関大生死)
  - 9月22日共産同赤軍派一大阪戦争(福岡信孝一大阪市阿倍野署・金塚交番襲撃)
  - 9月21～23日社青同第九回大会一分裂開始・社会主義協会派、解放派・第4インター派、太田協会派
  - 9月24日社会党・総評、反戦青年委員会の改組一「反安保・反戦青年中央協議会」設置で合意
  - 9月24日「アンチ安保」第1号(小西誠)
  - 9月27日高校生安保粉碎共闘会議(高安共闘)一結成(全国高校生安保闘争委員会(共産同)、  
反戦高校生協議会(革共同中核派)、高校生解放戦線(ML同盟)、安保粉碎高校生戦線(統社同)  
全国高校生闘争連合(共労党)、プロレタリア軍団高校生評議会(プロ軍団)～六派共闘)
  - 9月29日青山高校全共闘、8教室バリケード封鎖占拠
  - 9月×日『赤軍』NO2(「分派闘争の今日的意義と世界革命戦争」)
  - 9月30日共産同赤軍派一東京戦争(東大龍岡門近くの本富士警察署襲撃一田中義三、  
大崎署の西五反田派出所襲撃一松平直彦～中止)
  - 10月1日革命的労働者協会(社会党・社青同解放派)一結成・機関誌紙『解放』『解放』
  - 10月1日『共産主義』第13号(第九回大会報告)
  - 10月1日「アンチ安保」第2号(小西誠)
  - 10月3日全関西学総決起集会・中電マッセスト 中央権力闘争勝利！(尼崎市立労働会館)  
(主催・関西ストライキ実行委員会、北大阪制圧・10・21 マッセスト決議)
  - 10月3日「戦旗」第196号「同志望月君の死を悼む」
  - 10月5日プロレタリア軍団全国学生評議会一結成(武装蜂起準備委員会系)
  - 10月6日共産同政治集会(東京・・基調・さらぎ徳二)

- 10月6日関西革命戦線準備会結成報告集会(京都/大阪)
- 10月7日共産同政治集会(北区公会堂、基調一野崎 進)  
「佐藤訪米実力阻止・安保決戦を日帝打倒・世界革命戦争へ」
- 10月8日10・8羽田闘争二周年記念反戦青年決起集会(扇町公園・全大阪反戦青年委員会)
- 10月8日東京都立日比谷高校/加蘭会館の封鎖—全闘連/17日機動隊が解除/22日再封鎖—28日解除
- 10月10日「戦旗」第197号「10・21神田・北大阪から政府中枢抑圧へ」
- 10月10日反戦・安保粉碎・沖縄闘争勝利・佐藤訪米阻止・羽田闘争二周年  
全国統一行動(全国25都道府県53箇所)/全関西労学総決起集会(円山公園)
- 10月13日「前進」第455号「『反戦派労働運動』について」陶山健一-自己批判
- 10月14日大阪府立淀川工業高校/校舎封鎖(検閲制度粉碎)
- 10月15日「アンチ安保」第3号(小西誠)
- 10月17日「戦旗」第198号「神田結集・政府中枢抑圧へ、安保粉碎・日帝打倒・世界革命戦争への道」
- 10月19日新学生同盟(新学同)結成—全協(創価学会系)改組
- 10月19日共産同・共労党・社青同解放派—共同記者会見(大阪)～「北大阪制圧闘争」提起
- 10月×日共産同「BL派フラクション」の分解(10・21闘争の戦術—「理論戦線」派の分岐)
- 10月21日国際反戦デー(新宿、高田馬場、大阪-北大阪制圧)、全都千五百名逮捕  
共産同・大阪中電マッセスト(川村忠孝、大前弘志、佐渡正昭他)/  
全大阪反戦の分裂～「五地区反戦」(豊能・東淀川・東大阪・大東・枚方)の形成
- 10月21日東京都立青山高校バリ封鎖占拠解除—機動隊との攻防(14人逮捕)
- 10月21日東京都立城南高校/校舎封鎖—反戦共闘委員会(検閲制度撤廃、職員会議の公開要求)
- 10月23日神奈川県立希望ヶ丘高校/バリケード封鎖—希望ヶ丘闘争委員会/「生徒心得」全面廃止)
- 10月23日東京都立上野高校—バリケード封鎖/全日制闘争委員会(五項目要求)  
/11月自主ゼミナール開始
- 10月24日「戦旗」第199号「死力をつくして安保決戦勝利の11月闘争を」
- 10月24日広島県私立修道高校/全学闘争委員会、校舎封鎖(制服廃止、職員会議公開、退学処分撤回・・・)  
/11月10日全闘委、校舎再封鎖
- 10月29日警視庁機動隊庁舎爆破(未遂—若宮正則・共産同赤軍派)
- 11月×日統一労働者同盟準備会—形成(小寺山康雄)～統社同の分派
- 11月1日小西 誠(航空自衛官二曹)—「安保反対」等ビラ配布で逮捕
- 11月5日共産同赤軍派53名逮捕(大菩薩峠山荘・八木健彦、上野勝輝、松平直彦、他)
- 11月7日『赤軍』NO4(「綱領確立のために(1)過渡期世界とプロレタリアー党—」)
- 11月10日大阪府立生野高校/バリ封鎖—全学闘争委員会(「表現の自由」要求)
- 11月11日全大阪地区反戦連絡会議—結成(全大阪反戦青年委員会の分裂・主体と変革派系)  
(全攝津、南大阪、北摂、北地区、豊能、大東、東大阪、東淀川、東南)
- 11月11日東京都立石神井高校/封鎖—石神井反戦協議会
- 11月13日大阪市立住吉商業高校/通用門封鎖(文部省見解反対)
- 11月13日総評—佐藤訪米阻止・人事院勧告完全実施等・統一ストライキ
- 11月13日佐藤訪米実力阻止総決起集会(扇町公園・プロ学同・岡大生・糟谷孝幸君虐殺)
- 11月14日浦和地裁(埼玉県)実力占拠—全国部落研究会
- 11月16日佐藤訪米抗議集会(社会党・総評系・中立労連—代々木公園7万人)
- 11月16-17日佐藤訪米阻止闘争(11月決戦)—品川、蒲田、池上2千名逮捕  
(共産同～第二～第六軍団建設、「第四軍団」(「理論戦線」派)と「第五軍団」—BL派の分裂)
- 11月17日『週刊アンポ』創刊(ベトナムに平和を！市民連合)
- 11月21日「戦旗」第202号「戒厳体制破り、赤ヘル軍団蒲田に進撃！七〇年代階級闘争の幕開く」
- 11月22日大阪府高校生自治会連絡会議準備会(反戦高協・ヤングベ平連・・・)
- 11月26日東京都立北高校/封鎖—12月26日機動隊突入、封鎖解除
- 11月26-27日山田弾薬庫搬入阻止闘争
- 11月26-28日民青同第11回全国大会
- 11月30日日本共産党(左派)—創立大会(議長・福田正義・機関誌・紙「革命戦士」「人民の星」)
- 12月4日11月決戦報告ML同盟政治集会(品川公会堂—「11月決戦」勝利の確認)
- 12月7日東京都立志村高校/校舎封鎖—全共闘
- 12月8日革共同中核派政治集会(「11月決戦」勝利)
- 12月8日『赤軍』NO5(「前段階武装蜂起—我々の敗北の教訓—国際根拠地—蜂起の軍隊—地下活動」)

- 12月8日「解放の旗」第7号
- 12月8日東京教育大学附属駒場高校/校舎封鎖—教駒全共闘(大谷行雄他)
- 12月9日『革命の軍隊・党の革命 10・11月闘争の運動—組織論的総括』(共産主義者同盟)—発行
- 12月11日全関東労学政治集会(革労協—「11月決戦」敗北)
- 12月12日「戦旗」第205号「内戦主体の構築をかちとり、七〇年代の階級闘争に進撃せよ！」
- 12月12日共産同大政治集会(荒川公会堂、基調—佐々木和雄)
- 12月14日糟谷君虐殺抗議人民葬(日比谷野音・全国全共闘1万2千名)—  
中核派・学生解放戦線・反帝学評・社会主義学生戦線と革マル派衝突
- 12月15~17日全学連第二八回臨時全国大会(革マル派系・委員長—大貫健夫)
- 12月15~17日全学連第二六回臨時全国大会(中核派系・委員長—金山克巳)
- 12月15日全関西労学総決起集会(中之島公会堂・共産同関西地方委員会)  
「安保粉砕と内戦の70年代」(永井武夫)
- 12月19日「戦旗」第206号「恒常的武装闘争を牽引する反戦・全共闘へ」
- 12月19日全国全共闘第二回大会(日比谷野音)1万名—中核派・反帝学評衝突
- 12月20日全国反戦代表者会議(救援対策から革マル派を排除)
- 12月20日全学連第二一回臨時大会(解放派)
- 12月21日第二、第三の小西を！新潟行動委員会—結成
- 12月27日『赤軍』NO6(「何から始めなければならぬか—前段階蜂起敗北の教訓  
—世界党—世界赤軍建設」)
- 12月28日第二、第三の小西を！東京行動委員会—結成
- 12月×日安保万博粉砕共闘会議—結成(代表—針生一郎)
- 12月×日雑誌『流動』創刊1号(流動出版~82年)
- 12月30日日本共産党革命左派神奈川県常任委員会「大会」開催(大宮会議)—川島 豪の指導権・河北三男離党